

サンドブリックS仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240㎡ (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100㎡</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系珪酸シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106㎡</u>
主材 (目地・ 下塗り)	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ JP-100TBK(黒) JP-100TGY(ベージュ)</u> <u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ (ジョリパットノフリーズ JPW-100 シリーズ) 標準色 JP(W)-100T (...数字)</u> <u>特注色 JP(W)-100 (...英字、 ...数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約22㎡ (目地、下塗り)
主材 (上塗り)	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ (ジョリパットノフリーズ JPW-100 シリーズ) 標準色 JP(W)-100T (...数字)</u> <u>特注色 JP(W)-100 (...英字、 ...数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約8㎡ (上塗り)
骨材	JF-1	寒水石(白竜)1厘	20kg/袋入り	約15㎡
目地棒	JR-70P5M1	5mm幅×1m	200本/箱	200m分
	JR-70P7M1	7mm幅×1m	200本/箱	200m分
	JR-70P10M1	10mm幅×1m	200本/箱	200m分

目地色を確認して下さい。

主材は目地色とパターン色の両方を発注して下さい。

目地にパターン色と同色のジョリパットを使用する場合は、目地塗り、仕上げ塗り込みで約6㎡/缶です。

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25㎡/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノフリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

<主な施工道具>

- ・金ゴテ
- ・ダスター刷毛又は左官刷毛
- ・ゴムローラー（目地棒の密着が悪い場合に使用）

<下地調整>

モルタル金ゴテ押さえ（平滑）など

<サンドブリックS仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材(目地色)塗布

- ・JP(W)-100 シーズ目地色を無希釈で0.9kg/m²となるよう金ゴテにて全面に平滑に塗布してください。(凹凸が激しいと目地棒が付着しにくくなる為、塗装は不可)

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 墨出し

- ・目地棒を貼る為の基準線をつけてください。

4. 目地棒貼り

- ・目地棒の白色離型紙を剥がし、基準線に沿ってしっかりと押しつけて、目地棒を貼りつけてください。
(剥がれやすい場合は、ゴムローラー等で押さえると剥がれにくくなります。)

目地棒貼り付け後

5. 主材パターン付け

配 合	<u>JP(W)-100シリーズ</u>	20kg
	寒水石 1厘	10kg
	清 水	2割
塗 布 量	約4.0kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて、砂岩模様を出してください。 (図-1)	

追いかけて

6. 刷毛引き

・ダスター刷毛（又は左官刷毛）を水で濡らし、パターン付けした線（段差模様）と平行になるよう刷毛を寝かせて表面を軽く削り用に刷毛引きしてください。
この時、強く削り過ぎるとパターンが消えてしまう為、注意。（図-2）

5分以内（表面が皮ばりする前に）

7. 離型紙除去

・JP(W)-100シリーズが乾燥しないうちに、青い離型紙を剥がしてください。
(目地部分の角でバリがでないようにする為)

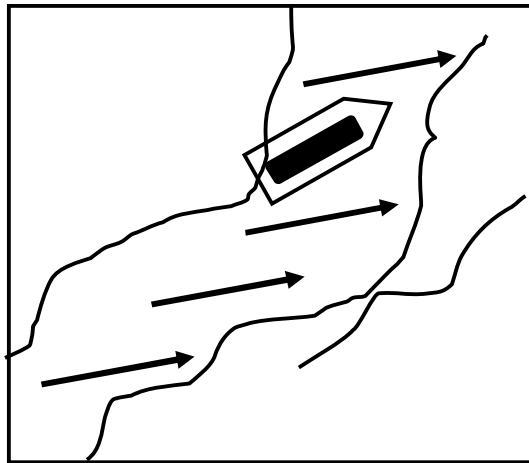
24時間後

8. 目地棒除去

・白い目地棒を除去してください。
目地棒撤去は乾燥後に行うようにしてください。

<施工のポイント>

- ・ 剣先ゴテのエッジをきかせ、コテを斜めに抜くようにして段差をつけてください。
- ・ 隣りどおしの砂岩調の模様が同じにならないよう注意して施工してください。



コテでつくった段差の線を重ね
合わせて、長い1本の線をつくる。

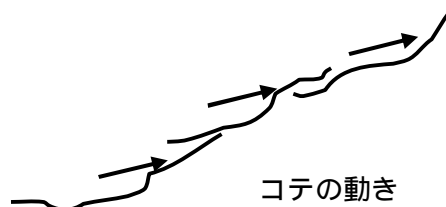
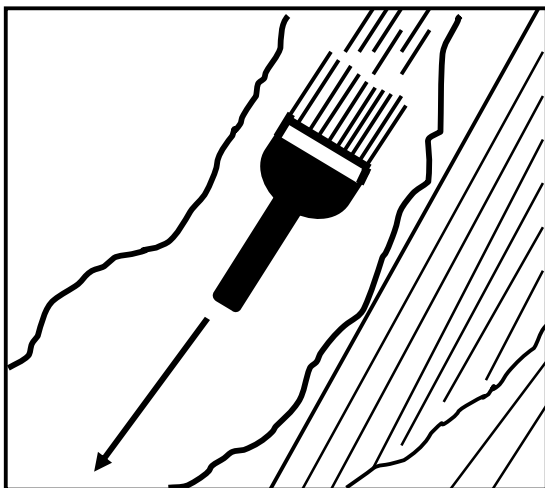


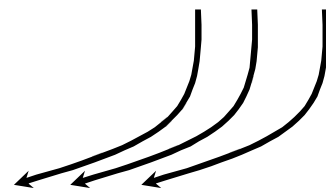
図 - 1



追っかけ (ジョリパットが皮張りする前に)



- ・ 刷毛は、枠に対して真直ぐ動かしてください。
決して、蛇行させないでください。
- ・ ダスター刷毛をあまり水につけすぎると
パターンがぼけます。



×

図 - 2

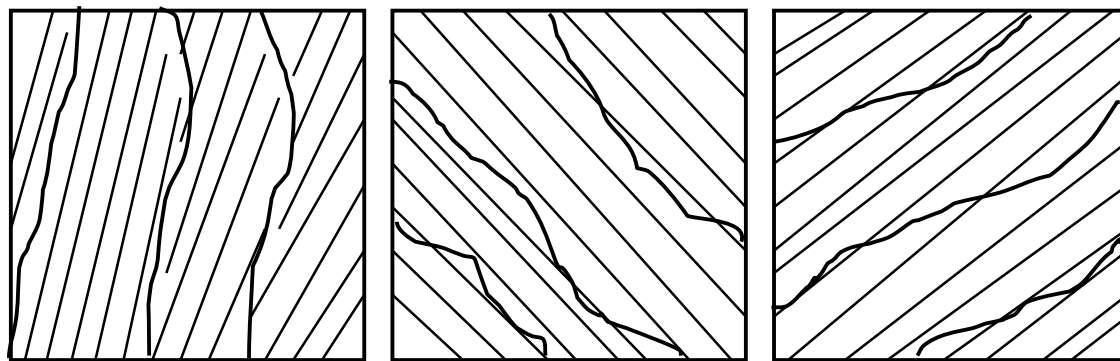


図 - 3

- ・刷毛を直線で動かした方が、石を切ったように見え、砂岩らしい仕上がりになります。又、隣りどおしのパターンが同じにならないよう基本的には、図 - 3 の3パターンを組み合わせる施工するとバランスの良い仕上がりになります。

< 施工の注意事項 >

- ・目地無しで大面積を仕上げることは困難です。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・目地棒が剥がれやすい場合には、ゴムローラー等で押さえて下さい。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノーフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防

止のためJS-410をご使用下さい。

しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下ではJPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。

- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上